



るもいコホートピア構想

健康長寿の まちを目指して

るもいコホートピア構想

コホートピアを目指す

健康長寿のまちづくりその⑧

「医学研究の価値と目指すところ」

留萌の皆さん、明けましておめでとうございます。昨年は、るもいコホートピア構想に着手し、また、NPO法人るもいコホートピアを立ち上げ、健康の駅で皆さんの健康づくりのお手伝いや、健康の目印、健康に役立つお話をさせていたただきながら、健康を通じた新たな出会いができました。

今年も、医師であり、研究者の立場から、皆さんの健康づくりと、留萌の街づくりに役立つ取り組みを進めて参りたいと思いますので、よろしく願います。

るもいコホートピア構想は、

地域住民と一体となった医学研究を広く呼びかけています。



目指すところは、地域で行う医学研究により、地域の医療・介護資源を詳らかにし、有効的に活用することです。

限られた人員や予算をいかに有効に活用しながら、地域の健康づくりにつなげていくためには、今の姿を正確に知ることが必要です。

たとえば、BMIが25を超える人がたくさんいることが明らかになれば、地域の健康づくりのテーマに肥満防止が重要であることがわかります。



今年も、スタッフ一同皆さんの健康づくりをサポートします。

健康の駅では、今年、「健康コミュニケーション」と人づくりをテーマに掲げ、新たな事業に取り組みたいと考えています。また、留萌の食を健康的に味わい、学び、広める取り組みをぜひ、健康の駅から発信していきたいと思っています。

今年も、たくさんの皆さんの来場をお待ちしています。

2つ目は、地域の産物の価値を科学的に検証することで、産物の価値をさらに高める取り組みへの展開です。留萌の一次産品のすばらしさを広める一つの手段になると考えています。

（札幌医科大学医学部教授 小海康夫）



携帯電話用QRコード



健康の駅携帯用サイトができました



今年一年、皆さんが健康でいきいきと暮らせますように...